



百貨店文化、華ひらく。

TAKASHIMAYA CHRONICLE

高島屋創業195周年記念展

百華・タカシマヤ 繚乱

第Ⅱ期：華の時代

2026年 4月11日[土]—6月29日[月]

第Ⅰ部：4月11日[土]—5月18日[月] 第Ⅱ部：5月23日[土]—6月29日[月]

【入館無料】休館日＝火・水曜日 開館時間＝10:00-17:00(入館は16:30まで)

※会期は変更となる場合がございます ※5月19日[火]～5月22日[金]は展示替のため休館

会場＝高島屋史料館 企画展示室

高島屋史料館

Takashimaya Archives

 Takashimaya

初公開資料から不朽の名作まで一挙公開!! / タカシマヤクロニクル 百・華・繚・乱



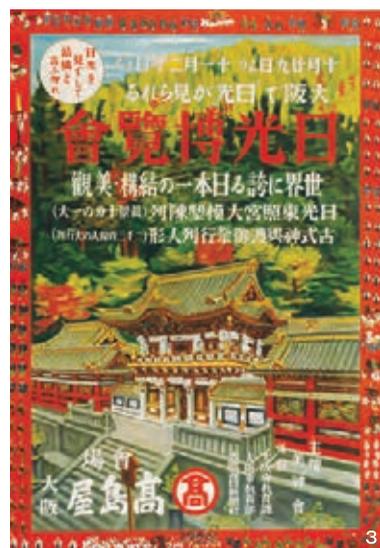
高島屋の歴史は、1831(天保2)年正月、初代飯田新七が京都・烏丸松原で古着木綿商「高島屋」を創業したことに始まります。2026(令和8)年は高島屋創業195周年にあたります。

高島屋史料館では、創業以来の史料や美術品、呉服、広告宣伝物など、高島屋の歴史と共に蓄積されてきた多種多様な品々を収蔵しています。本年は一年を通して、高島屋の195年をご紹介します。それは同時に、日本の近現代史をたどることにもなるでしょう。

第二期は「華」の時代と題します。大正の終わりに、名実ともに近代的百貨店となった高島屋。昭和に入ると、ますます大型化し最新設備を整えた店舗に、文字通り「百貨」を揃えました。そして、バラエティに富んだ催事を次々に開催し、いち早く新しい話題を届けました。本展は、日本で百貨店文化が華ひらいた大正期から昭和戦前期までの時代を取りあげます。

「百」「華」「繚」「乱」—各時代の高島屋をお楽しみいただければ幸いです。

※本展は会期をI・II部に分け、展示品を一部入れ替えて構成します。



- 1 川端龍子《潮騒》1937(昭和12)年【II部】
- 2 岡田三郎助《支那絹の前》1920(大正9)年【I部】
- 3 日光博覧会ポスター 1927(昭和2)年【I・II部】
- 4 北野恒富《婦人図》1929(昭和4)年【I部】
- 5 訪問着 近代詩韻 2014(平成26)年復刻【I部】
- 6 河井寛次郎《草絵壺》1935(昭和10)年【II部】
- 7 四代飯田新七喜寿扁額 1933(昭和8)年【I・II部】

イベントのご案内

※詳細は当館ホームページをご覧ください。状況により、イベントを中止する場合がございます。
①②いずれも参加無料、要申込み、抽選制です。当館ホームページよりお申込みください。

① 講演会「百貨店ポスターにみる戦前期日本の催事事情」 要申込み・抽選制

■講師=田島 奈都子氏(青梅市立美術館学芸員)
■4月26日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

② 講演会「祖父河井寛次郎と高島屋」 要申込み・抽選制

■講師=鷲 珠江氏(河井寛次郎記念館学芸員)
■6月14日[日]13:00~14:30 ■会場=多目的ルーム ■定員=20名

学芸員による企画展ギャラリートーク ※お申込み不要、開始時間までにロビーにお集まりください。

第1・第3土曜日14:00~(約30分)

特別映像

1927(昭和2)年の「日光博覧会」(高島屋大阪店開催)を再現!!
1日20万人の来場者を集めた「日光博覧会」。当時、大阪店で展示された日光東照宮1/10模型(十代長谷川喜十郎作、櫻山八幡宮蔵)を映像でご紹介します。
※会期中、多目的ルームにて終日上映します。



日光東照宮模型(部分)

【アクセス】

南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、
近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分
近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分
※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【住所】

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25
高島屋東別館3階
TEL. 06-6632-9102

<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>

